耐塩害仕様／耐重塩害仕様 全機種対応

海辺や潮風の吹くエリアも、塩害からしっかりガード！

海浜地域にお住まいの方のために、タンクやヒートポンプユニットの外板はもちろん、熱交換器や電気部品のプリント基板まで防錆・防腐処理を施しています。

貯湯ユニット

部品名＼仕様		標準仕様		耐塩害仕様(E)		耐重塩害仕様(H)	
		薄型以外	薄型	薄型以外	薄型	薄型以外	薄型
外部構造(板金)	外装板(天板)	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：2回塗り(プレコート鋼板)	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：粉体塗装　1回塗り	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：2回塗り(プレコート鋼板)	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：粉体塗装　1回塗り	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：2回塗り(プレコート鋼板)	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：粉体塗装　1回塗り
	外装板 (前板、左右側板)	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：2回塗り(プレコート鋼板)		材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：2回塗り(プレコート鋼板)		材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：2回塗り(プレコート鋼板)	
	底板	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板　塗装：無し		材質：高耐食メッキ鋼板　塗装：無し		材質：高耐食メッキ鋼板　塗装：無し	
	脚	材質：高耐食メッキ鋼板 塗装：1回塗り		材質：高耐食メッキ鋼板 塗装：2回塗り		材質：高耐食メッキ鋼板 塗装：2回塗り	
	継手取付板	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：無し		材質：高耐食メッキ鋼板 塗装：無し		材質：高耐食メッキ鋼板 塗装：無し	
外部構造(樹脂)	点検口	樹脂のまま		樹脂のまま		樹脂のまま	
ネジ	外部	炭素鋼 高耐食皮膜処理		炭素鋼 高耐食皮膜処理		炭素鋼 高耐食皮膜処理	

注)外観色については、標準・耐塩害・耐重塩害仕様はアイボリーホワイトです。

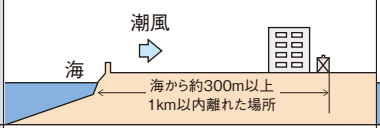
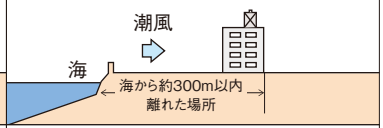
ヒートポンプユニット

部品名＼仕様		標準仕様	耐塩害仕様(E)	耐重塩害仕様(H)
外部構造	塗装用鋼板	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板　塗装：粉体塗装	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板　塗装：粉体塗装	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板　塗装：粉体塗装　2回塗り
	プレコート鋼板	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：溶剤塗装	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：標準仕様＋粉体塗装	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：標準仕様＋粉体塗装　2回塗り
	高耐食 メッキ鋼板	材質：高耐食メッキ鋼板 塗装：無	材質：高耐食メッキ鋼板 塗装：無	材質：高耐食メッキ鋼板 塗装：粉体塗装　2回塗り
	樹脂	樹脂のまま	樹脂のまま	樹脂のまま
内部構造	塗装用鋼板	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：無	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：粉体塗装	材質：溶融亜鉛メッキ鋼板 塗装：粉体塗装　2回塗り
	高耐食 メッキ鋼板	材質：高耐食メッキ鋼板 塗装：無	材質：高耐食メッキ鋼板 塗装：無	材質：高耐食メッキ鋼板 塗装：粉体塗装　2回塗り
ネジ	外部	炭素鋼 高耐食皮膜処理	材質：ステンレス鋼(ワッシャ付)高耐食皮膜処理	材質：ステンレス鋼(ワッシャ付)高耐食皮膜処理
	内部	炭素鋼 高耐食皮膜処理	材質：ステンレス鋼 高耐食皮膜処理	材質：ステンレス鋼 高耐食皮膜処理
熱交換器	フィン	親水処理フィン	高耐食樹脂コートフィン	高耐食樹脂コートフィン
	管板	高耐食メッキ鋼板	高耐食メッキ鋼板	高耐食メッキ鋼板
ファン電動機		電動機メーカー標準	電動機メーカー標準	塗装：メーカー耐重塩害塗装 塗装色：メーカー塗装色による
プリント基板		両面にコーティング(耐重塩害仕様とは、実装面で塗布範囲異なる)	両面にコーティング	両面にコーティング
リアクタ		メーカー標準	メーカー標準	メーカー標準
圧縮機　本体		材質：鋼材　塗装：1回塗り	材質：鋼材　塗装：1回塗り	材質：鋼材　塗装：1回塗り
吸入マフラー		材質：鋼材　塗装：1回塗り	材質：鋼材　塗装：2回塗り	材質：鋼材　塗装：2回塗り
JRA銘板		無	有	有

注)外観色については、標準・耐塩害仕様はアイボリーホワイト、耐重塩害仕様はライトキャメルです。

据付場所について

耐塩害仕様機は、室外設置機を塩害および、大気汚染の影響を受ける場所に設置可能な仕様になっています。

種類	JRA耐塩害仕様(E)	JRA耐重塩害仕様(H)
据付場所	**潮風には当たらないが その雰囲気があるような場所** 	**潮風の影響を受ける場所** ただし、塩分を含んだ水が直接機器にはかからない場所 
機種選定の目安 ※1 ※2	1.室外ユニットの設置場所から海までの距離が約300mを超え1km以内の場所 2.室外ユニットが建物の影になる場所 3.室外ユニットが雨で洗われる場所	1.室外ユニットの設置場所から海までの距離が約300m以内の場所 2.室外ユニットが建物の表(海岸面)になる場所 3.室外ユニット設置場所のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多い場所 4.室外ユニットに雨があまりかからない場所

据付上の注意(維持管理について)

ＪＲＡ耐塩害仕様機・耐重塩害仕様機は前述のように素材や塗装内容を強化していますが、腐食に対して万全ではありません。このため、次のような据付計画と保守を行うことで防食効果を高める必要があります。

(1)海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。
- 機械の設置は建物の風下にしてください。
- やむを得ず海岸面に機械を設置する場合でも、防風板を設けて直接潮風が当たることを避けてください。
- 据付方向に注意してください。
(海岸線に平行と直角では腐食度合いが異なります)

(2)外装パネルに付着した海塩粒子が、雨水によって十分洗浄されるように配慮してください。
(3)室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないよう傾きなどに注意してください。
(4)海岸地域への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
(5)水はけの良い場所に設置してください。特に基礎部分の排水性を確保してください。
(6)据付け、メンテナンス等にて付いた傷は、必ず補修してください。
(7)機器の状態を定期的に点検してください。
(必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください)

メンテナンス時の留意事項

- 機械のメンテナンスを十分に行ってください。
- 長期間機械を停止する時は、機械にカバーをかける等の処置をしてください。

※なお、特殊な雰囲気に機械を設置する場合は、別途十分考慮する必要があります。

※1. 耐塩害仕様、耐重塩害仕様の選択は、設置環境により条件が変わる場合(例えば季節風、台風の影響の強い地域)を除いたときの目安です。
※2. 沖縄や離島地域に設置される場合は、JRA耐重塩害仕様(H)を使用してください。
●「耐塩害仕様」「耐重塩害仕様」は、日本冷凍空調工業会標準規格JRA9002に基づいています。